冬を迎える水道には こんな注意を

これから気温の変り方がはげしくなり、お家庭へ引込みの給水装置もいろいろなこしようが起りやすくなります。それには凍ることを防ぐとともにその取扱いに注意して下さい。

今一度たしかめましよう。

外廻りで地上にでている管に藁や縄、又はフイルトを巻いて直接寒気にふれないようにしてありますか。

ビニール管は熱に弱い

家の外や内の中の蛇口が凍って水がでないときでも直接にビニール管口に熱湯を注いだり加熱しないこと。破損の原因になります。

ビニール管とコンクリート

給水ビニール管がコンクリートの中口に入るときは、ビニール管保護のため、布や丈夫な紙で管体をつつんでコンクリートと直接縁を切ること。立上り部分で建物の壁の中を通る管部も同様に少し厚めに包んでぬり込むことが必要である。

給水装置の補正

床をコンクリートにする。又は土盛りをするなど、今後いろいろなことがおこると思います。このようなときメーター、止水栓などがその保全に支障のないような措置とする必要がありますので、やる前に必ず相談して下さい。

冬を迎える水道

冬を迎えるといろいろな困難な条件が出そろってまいりますので、

節水につとめる

漏水や異状はすみやかに連絡する

消火栓の周囲は常に清掃する

第六回囲碁将棋大会

公民館主催による囲碁将棋二位大会が十一月二十四日、岩室支所で開催された。

参加者は少なかったが和やかなうちにも熱戦が展開され、大天狗、小天狗達は楽しい一日を過した。

入賞者は次の通り

将棋の部

一位　阿部　茂（久保田）

二位　野水　寅栄（高畑）

三位　後藤　清（岩室）

三位　佐藤　幸男（和納）

囲碁の部

一位　竹内　保（和納）

二位　中村　昭（弥彦）

二位　小池　丈夫（石瀬）

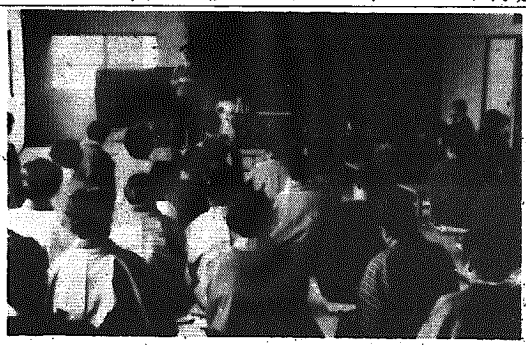
三位　三冨　芳一（岩室）

商工会で婦人講座を開催

岩室村商工会（会長本間十郎）では十一月八日の全商工業者の定休日を利用し、婦人講座を開催した。

この講座は毎年開かれているもので、婦人相互の親睦と商工経営に関する知識の向上を兼ねたもので、約七十名の婦人が参加した。

講師は新潟市から幸田先生を招き「これからの商店経営に於ける婦人としての心構えと接客サービス」等について熱心に勉強した。



写真は熱心に受講する婦人たち

年末防犯について

昭和三十八年も余日僅かとなりました。毎年のことでありますが、あわただしい年の暮ともなりますと、いろいろな犯罪がおこりがちです。お互いが次のことに充分注意を払い、村内からは絶対に犯罪のおこらない、明るい楽しい年を送りたいものです。

一、屋内における犯罪防止

◎ちょっとした外出にも戸締りを

◎多くの現金は家におかない

◎隣どうしの協力で盗難の予防

◎寝る時は必ず戸締りと火の元に

二、外出時における被害防止

◎混雑するところや乗物にはスリに注意

◎夜間における女性の一人歩きに注意

三、詐欺被害の防止

◎年末にはとかくサギ手段のもの売りが出廻ります、うまい話に慾は禁物

四、交通犯罪の防止

◎対面交通をよく守る

◎制限速度を守る

◎飲酒運転はやめる

◎子供は道路に遊ばさない

五、少年の犯罪防止

◎未青年者には酒やたばこをのませない

◎少年が刃物を持つことは危険

◎少年の深夜外出は悪へつながる道

国体に美しい花を咲かよう (5)

ダリアについて (2)

本圃（本ばたけ）の作り方

本植する畑は、大抵の土地では育つのだが、水はけのいい、日当りのいい壌土が望しい。

ダリアは水を好な植物だがつゆ時のながれ雨で水のたまる様な土地で絶体に駄目と思わねばなるまい。石瀬あたりの赤粘土の土地もあまり感服しない。

それでもうんと堆肥をかかいば何とか育つ。

間瀬の様な砂地もいい、花はさかないといわれるが灌水を十分に注意すれば重粘土の土地よりはましだと思う。

土地の選択がきまったら、株間一メートル。うね巾六、七〇センチ位にとって植穴を掘る。穴の大きさは小さくても径三〇センチ欲しい。

中には完熟した堆肥に木灰を加えて入れ、それにたっぷり人糞尿をかけて基肥とする。

魚肥を用いると肥効が長いから、一番いい様だ。それにうすく土を覆って、その中央部にしっかりした支柱を大地にがっしりと打ち立てる。

まづもって支柱を立てることは重要な作業だ。

これをやらないために、予期しない強風に折られたり倒伏したり、又、後で支柱を打こんだために芽やいもを損傷して思わぬ失敗をすることが多いものだ。

植付

発芽して相当成長したらそれは細根が出はじめて芽が五センチか一〇センチに位なったころ合がいい様だ。

私は五月のはじめ頃に予定してる居る。いもから細根がたくさん出てしまうと植弱りがはげしい。

あまり芽の小さいうちは定植してから虫になめられてしまったり、かわいてしまったりしやすい。

植付は前もって立てた支柱に芽をより添わせて日光の方に植える。

いもはしけ地では地上と同じ位の高さで、（そうしないと長雨の季節に水分過剰で細根やいもがくさったり、成長しかけたダリアの茎根が立枯する）乾燥する土地ではやや深目に位置して定着する。

芽には成長につれて。だんだんに地寄するが、いもにかけた土が浅すぎると、植付の時季がかわきやすい時節だから細根の発生をさまたげるために芽の成長がおくれるからそれを考えて土寄する。そうして二〇センチ位になるまで、しばらく夕方の灌水を忘れてはならぬ。

しかし灌水がすぎると、根本がしまりすぎて、細根のくさる恐れがあるので注意がいる。

ラジオ農業学校

十二月の集合研修会が次の通り開かれる。

○五日（岩室中学校）

一般学習は鶏の解体、料理実習、剪定整枝について

専門学習は冬期剪定、農機具の手入、管理について

○二十日（岩室中学校）

一般学習は農業経営、養豚について

専門学習は田畑輪換、酪農について

あとがき

○師走のあわただしい月を迎えました。役場に御用の向きは二十七日までにどうぞ。（福田）